

第 11 回 (2021 年度) 学会認定・臨床輸血看護師試験の結果

学会認定・臨床輸血看護師制度

協議会 会長 大戸 齊
審議会 会長 牧野 茂義
試験委員長 梶原 道子

(1) 筆記試験

1. 実施日、会場：令和 3 年 11 月 7 日 (日)、コンgresクエア羽田
2. 時間、内容：2 時間 (10:00~12:00)
多肢選択式問題 40 題 (80 点)、記述式問題 2 題 (20 点)、計 100 点満点
3. 受験者数：216 名
(受験申請者 226 名中、新型コロナウイルス感染拡大によって受けられなかった 7 名、
辞退者 3 名を除く)
4. 成績：平均点 71.56 点、最高点 92 点、最低点 44 点、標準偏差 9.58 点
5. 筆記試験合格者数、合格率：210 名、97.2% (210/216)

(2) 病院研修

1. 期間、会場：令和 4 年 1 月~3 月において、1 日間
学会認定・臨床輸血看護師制度協議会の認定施設
研修生の所属施設
2. 研修者数：211 名
(筆記試験合格者 210 名中、退職 [1 名]、病欠 [1 名]、自施設研修困難 [2
名]、新施設研修困難 [1 名] のため 6 名が研修未修了となった。前年度
筆記試験に合格したが、病院研修を受けなかった 1 名が研修を受けた)
3. 研修終了者数：205 名
(施設研修を受けた 205 名において、不合格と判定された者はなかった。)

(3) 最終認定者数、認定率：205 名、90.3% (205/227)

(4) 講評

コンgresクエア羽田を会場として、令和 3 年 11 月 6 日 (土) に講習会が、7 日 (日) に筆記試験が行われた。講習会は 6 日、13 時よりスタートし、6 名の講師により途中で約 25 分の休憩を挟み、19 時 20 分まで行われた。テーマは総論の後、内科、外科・周術期、救命救急、産婦人科、小児科の各領域における輸血療法とした。筆記試験は 7 日に行われ、講習会参加者 216 名全員が受験した。結果は上記の如くで、56 点以上の 210 名が合格となった。

病院研修は全国の指定施設で行われた。COVID-19 の急速な感染拡大の影響を受け半数の研修生に於いては、特例的に研修生所属施設での 1 日の研修を以って、指定施設での病院研修の代替とした。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計 7 項目について、それぞれ (a) 特に優れている、(b) 優れている、(c) 良い、(d) 劣る、の 4 段階で行われた。各項目 (b) との評価が最多であった。各項目で (d) 判定となったものはいなかった。総合評価も (a) ~ (d) の 4 段階で行われ、病院研修者 205 名は、(a) 110 名 (53.7%)、(b) 83 名 (40.5%)、(c) 12 名 (5.9%) と判定されたが、(d) は皆無であった。

以上より、病院研修を行った 205 名の修了が確認され、第 11 回 学会認定・臨床輸血看護師として認定された。